

■ 5-3. 第 3,4 期スタンド棟（6/6）

5 章 電気設備計画

- ・スタンドエリアを管理する入退室管理システムを事務所棟 2 階サーバ室に設置する。既設入場門棟・事務所棟系統用の入退室管理システムが現存しているが、今回工事ではシステムの統合は行わない。
- ・将来的なシステム統合を想定しているため、入場門棟・事務所棟系統のカードリーダー数が追加取込できる主装置の仕様とする。
- ・セキュリティレベルは 5 段階程度に区分する運用が想定されることから、システム上対応可能とする。
- ・事務所棟の既存システムとの IC カードを共用する観点から、Felica カードによる運用とする。
- ・カード（Felica、標準デザイン）を 1 0 0 枚納入のこと。また、既設 Felica カード（Felica、標準デザイン）含めて登録枚数は 1 2 0 枚程度とする。
- ・監視カメラや機械警備システムとの連動は行わない。

（3）機械警備設備

- ・別途工事として整備される機械警備センサー用の空配管を敷設する。
- ・対象箇所は、資金センター等とする。

06．防災設備

- ・3 期スタンド棟・4 期スタンド棟の防火対象物要件は以下のとおり
- |              |          |                    |
|--------------|----------|--------------------|
| 防火対象物区分（消防法） | ・用途      | 観覧場（S R C 造 耐火建築物） |
|              | ・令別表第 1  | 1 項（イ）             |
|              | ・有窓／無窓   | 無窓                 |
| 非常電源設備       | ・非常用発電設備 |                    |

（1）総合操作盤

- ・4 期スタンド棟 1 階自警本部（防災センター）に総合操作盤が設置・運用されている。
- ・改修工事に伴い、画面改修等のソフト変更を行う。

（2）自動火災報知設備

- ・4 期スタンド棟 1 階自警本部（防災センター）に設置している既設 R 型受信機にて監視・運用する。
- ・改修を実施する部屋・エリアにおいて、感知器及び感知器配線は更新する。
- ・改修を実施しない部屋・エリアは、必要に応じ感知器配線の接続替えを行う。
- ・既設中継器盤は内機改修（中継器の取替）とする。2 期スタンド棟解体に伴い、旧自警本部及び従事員組合室等に設置されている中継器盤の機能移転及び配線の盛替を行う。
- ・発信機及び表示灯は全て更新する。

（3）自動閉鎖装置設備

- ・4 期スタンド棟 1 階自警本部（防災センター）に設置している既設 R 型受信機にて監視・運用する。
- ・防火シャッターや防火扉などの防火設備の動作を行うため、連動感知器を設置する。
- ・既設自動閉鎖装置において空気式から電気式へ変更することから、閉鎖機構の改修（建築工事）に伴い、制御機能の追加及び配線工事（結線含）を行う。

（4）消防機関へ通報する火災報知設備

- ・消防協議に基づき、4 期スタンド棟 1 階自警本部の加入電話による代用とする。

（5）非常放送設備

- ・3 期スタンド棟 5 階新中央監視室に設置されるファン放送兼非常放送アンプで非常放送を行う。
- ・非常用スピーカーはファン系スピーカーと共用する。
- ・非常操作ユニット（非常リモコン）は 4 期スタンド棟 1 階自警本部、5 階執行本部、事務所棟 1 階守衛室とする。

（6）誘導灯設備

- ・消防法に基づき、誘導灯設備を L E D 型・電源内蔵式として非改修部も含めて全更新する。
- ・安全性を高めるため、各階避難口には音声・誘導点滅光の仕様を設置する。
- ・スタンド棟内の誘導灯は、閉館時の消灯が可能なよう誘導灯信号装置（消灯用）は事務所棟 1 階守衛室に設置する。
- ・消防協議に基づき、観覧席は客席誘導灯を不要とする。
- ・現在、誘導灯は電源別置型であり、CVCF 系統の電源が供給されているが、施設整備後は電池内蔵形に変更し一般系統の電源供給とする。

（7）非常用照明設備

- ・建築基準法に基づき、非常用照明（L E D 型・電池内蔵形）を非改修部も含めて全更新する。
- ・非改修範囲のうち、物置エリア等は停電時の安全確保の為、電池内蔵形の保守用照明を設置する。
- ・共用部の階段は、照明器具内蔵のセンサーによる点灯・消灯を行う。

（8）雷保護設備

（8－1）外部雷保護システム

- ・建築基準法に基づき、外部雷保護システムを構築し、雷電流を安全に大地に流すことを目的とする。
- ・現在の避雷設備について既存流用を主体とする。  
ただし、立ち下げ導線及び接地極のみ新たに敷設を行う。

（8－2）内部雷保護システム

- ・被保護物における雷の電磁的影響の低減を目的とし、雷サージ保護装置（S P D）を設置する。
- |                |                             |
|----------------|-----------------------------|
| 低圧用 S P D      |                             |
| クラスⅠ（電力回路）：    | 受変電設備、分電盤（屋外・屋上）            |
| クラスⅡ（電力回路）：    | 分電盤、動力盤、弱電主装置               |
| 通信用 S P D      |                             |
| カテゴリ D1(通信回路)： | 屋外への通信線（電話、通信、監視カメラ、防犯、放送等） |

07．オンライン配信設備

（1）Youtube スタジオ設備

- ・3 期スタンド棟 3 階 YouTube スタジオ内における映像配信に際し、コンセント電源やテレビ端子、光回線等を設置する。  
配信に用いる機材一式は別途対応とする。